

令和7年度学園評価報告書

令和8年3月

学校法人盛岡学園 認定こども園みなみ幼稚園

学園評価報告

1. 園のめざす姿

素直にあいさつが云える子ども、健康でたくましく明るい子ども、感謝と思いやりのある子どもたちが育っていく幼稚園をめざしています。

2. 教育目標

よく観察する子　よく考え行動する子　よく集中して取り組む子
このような子どもたちを育てたいと願い教育保育に取り組んでいます

3. 本年度(令和7年度)の重点目標・計画

《3歳以上児》

満3歳： 園生活に慣れ、安心して過ごせるようになる。

3歳児： 基本的な生活習慣を身につけ、身近な環境に親しみを持ちながら園生活を送る。

4歳児： 自分の思いやイメージを言葉にして伝えたり、相手の思いを受け入れたりしながら、園生活を送れるようになる。

5歳児： クラスの一員として友達と協力しながら、目的に向かって取り組む。

《3歳未満児》

0歳児： 安全で心地よい環境の中で、一人ひとりの生活リズムを大切にしながら安心して過ごす。

他2項目(資料1：未満児の年間目標に記載の通り)

1歳児： 安定した生活の中で、簡単な身の周りのことを自分でしようとする。

他2項目(資料1：未満児の年間目標に記載の通り)

2歳児： 自分でしたい気持ち、もどかしい気持ち、甘えたい気持ちなどを受け止めてもらいながら、安心して身の回りのことをしようとする。

他2項目(資料1：未満児の年間目標に記載の通り)

4. 令和7年度：評価項目の取組状況及び達成度

自己点検評価項目	取組状況	評価
<p>1.教育・保育の計画性 園の教育理念、方針の理解 教育課程の編成 指導計画の作成 環境の構成 教育と計画の評価・反省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定教育・保育施設の運営基準条例、盛岡市子ども子育て支援法施行細則及び設備・運営の基準を定める条例に則して運営し、透明で開かれたこども園を意識している。 ・新・幼稚園教育要領に基づき指導計画を作成し実施している。 	A
<p>2.教育・保育の在り方、幼児への対応 健康と安全への配慮 幼児の見取りと理解 指導とかかわり 保育者同士の協力・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全への取組みとして地震・火災避難訓練の他、水害、不審者対策の訓練を実施した。 ・応急対応の講習を通し危機リスク管理の意識を共有した。 ・保護者への引き渡し訓練を実施し緊急対応時の迅速な動きの訓練を実施した。 ・感染症対策と幼児一人ひとりの心身の状態を考慮しながら生活している。 ・「教務部」「保健部」「校務部」「渉外部」「預かり保育」の部署で必要な話し合いをし、職員会議で共通理解に努めている。 	B
<p>3.幼稚園教諭としての資質や能力・良識 専門家としての能力・良識・適正組織の一員としての在り方 教育・保育の楽しみ・喜び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭としての意識・良識・マナーなど再確認し、日々の教育・保育への喜びを感じられるよう研修参加や自己研鑽に努めている。 ・有給の見える化と残業の低減を図り労働基準法に沿った働き方の実施に努めている。 	A
<p>4.保護者への対応 情報の発信と受信 協力と支援 守秘義務の厳守 対応上のマナー・良識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを実施し結果の公表をしている。 ・園だより・クラスだより等を通して教育・保育内容について情報を公開している。 	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡の仕方や方法、連絡帳での伝え方、話し方に配慮し誤解のないよう相互の関わりと協力体制を図っている。 	
<p>5.地域とのかかわり</p> <p>地域の自然・人々とかかわり 小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域小中高とは飯岡地区エスペロの会で交流し、高齢者施設訪問は訪問1ヶ所、ビデオレター1ヶ所と計2ヶ所と継続した交流を深めている。 	A
<p>6.研修と研究</p> <p>研修・研究への意欲・態度 専門性に関する研修・研究 今日的課題に関する専門性の向上 自らを高めるための学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園外研修として必要なキャリアアップ研修、マネジメント研修等を積極的に受講し、職員会議等で共有するよう努めている。 ・園内研修では、未満児・以上児の保育者が互いに意見を交わしながらより良い保育環境を調えるよう努めている。 	A
<p>7.事故リスクの軽減・防止</p> <p>満1歳、1歳児、2歳児の事故防止 満3歳、3歳児の事故防止 4歳児の事故防止 5歳児の事故防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊重」を第一に考え、事故防止に努めているが、個々の認識が統一されていない場面があったため講習や研修等で学び直し統一化を図っている。 ・子どもの体づくりの観点と事故防止の観点を大切に「遊び」を深めている。 ・予測できない動きがあるため、ヒヤリハットを常に心に置きながら事故防止に努めている。事後の対応策について記録を残し共有している。 	B

※評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5. 総合的な評価結果

幼保連携型認定こども園 2 年目となり、特定教育・保育施設の運営基準条例、盛岡市子ども子育て支援法施行細則及び設備・運営の基準を定める条例に則して運営しており、透明で開かれたこども園を意識し、危機管理には昨年度より一層の厳しさをもって取り組むよう努めている。特に安全対策として想定される災害や事故に対応する訓練を増やし実施した。また、応急訓練も職員全員が受講し非常時の意識付けができてきている。

3 歳以上児においては幼稚園教育要領の改訂による「遊びの重要性」を再確認し、各学年の育ち・発達を考慮した教育課程の編成を行っている。

感染症にも留意しながら、集団活動には十分配慮し行事の形などを工夫しながら実施している。

地域や高齢者施設との関わりにおいては、引き続き飯岡地域のエスペロの会で他の小中高との交流を持ち、高齢者施設は 2 ヶ所と直接的・間接的に交流を図ることができ、相互に喜びと感謝の思いを深めることができたので今後も継続していきたいと思う。保護者との関わりにおいては、立場が違うことで誤解などが生じないように丁寧に慎重に話し合いの場を持ちながら十分に配慮をしていくことの大切さを実感している。

6. 今後取り組む課題

令和 8 年度も引き続き気を引き締め、共通理解の元でこども達の保育・教育を施していく。

未満児保育では家庭的な雰囲気の中で、温かい見守りと月齢に見合った基本的な生活習慣を身に付けるよう支援していく。3 歳以上の教育・保育部門では、今年度同様、遊びを中心とした教育・保育を深めていく。引き続き、地域や高齢者との交流を工夫し、心の交流と支援ができるよう努める。

全学年とも、安全や衛生面に留意し、非常時には教職員全体が協力的に連携を図り迅速に対応できるよう常に意識を持続しておくよう心掛ける。

こども園での生活に教職員も定着するよう努め、職員間で互いにリスペクトし合い共通理解を重ねていく。

財務状況報告

法人監事による監査、および公認会計士監査(年2回実施)により、学園は適正に運営されていると認められている。

法人監査 令和7年5月27日 実施

公認会計士監査 令和7年5月19日 実施

令和8年2月17日 実施

環境点検実施報告

学校薬剤師による環境点検において、施設内環境の照度、空気濃度、温度、水質は基準値を満たし、食器の洗浄・滅菌もしっかりできており、預かり保育用室畳等の衛生にも問題なく幼児教育にふさわしい環境と認められている。

環境点検1回目 令和7年9月12日 実施

環境点検2回目 令和8年2月19日 実施

岩手県補助金関係事務検査・私立学校実態調査

実施日 令和7年8月28日 実施

概ね適正に事務がなされていることが確認された。

現物寄附であっても寄附金台帳が必要であることの指導があり、直ちに作成し改善した。

盛岡市実地監査報告

実施日 令和7年11月20日 実施

幼保連携型認定こども園として良好な運営及び管理体制が確認されており、改善指導は有りません。

盛岡市保健所実地監査報告

実施日 令和7年11月26日 実施

幼保連携型認定こども園として給食が開始され2年目で、全体的に良い給食運営がなされている。アドバイス事項として、中心温度計の校正記録を残してほしいことや献立表に栄養価を付加すること、非常時のライフライン毎の対応マニュアルが必要であること等の助言を頂き、直ちに対応している。